20 年　　月　　日

一般社団法人日本核医学会

登録番号：T9010005009416

**日本核医学会　PET撮像施設認証申込連絡受付票　兼　請求明細書**

（施 設 名）

（所　　属）

（氏　　名） 殿

（連 絡 先）

（受審希望） 認証（I）・認証（II）

PET撮像施設認証をお申し込みいただきありがとうございました。

貴施設より受審希望の日本核医学会PET撮像施設認証の実施には、以下の書類等が必要となりますので、ご用意ください。

【提出書類等一覧】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | チェック事項 | ✔ |
| **項目等** | **送付書類名目** |  |
| 申告書  | PET撮像プロトコール申告書（P.2 参照） |  |
| ファントム試験報告書  | ファントム試験・PET撮像情報報告書（HP参照） |  |
| 画像データ | Dropboxフォルダにアップロード |  |
| データの同意書 | 撮像施設認証で取得したデータの使用に関する同意書（HP参照） |  |
| 支払が確認できる書類 | 支払日、金額、振込元が分かる文書。データ等より遅れての提出も可。 |  |

HP: <http://jsnm.org/useful/molecule/documents02/>

**用意できましたら、****pet-qa@jsnm.org****までご連絡ください。画像データおよび書類をアップロードするためのDropboxフォルダを用意して連絡しますので、アップロードしてください。**

PET撮像施設認証制度委員会が評価を行うために、「PET撮像プロトコール申告書」および当該文書に記載されていない事項についても照会させていただくことがありますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

**今回のPET撮像施設認証に係る受審費用は 　　 万円**

**（10%対象　　万円、消費税　　万円を含む）です。**

内訳）認証（I）・（II） PET画像評価：機種台数　　台、受審検査項目　　検査

 施設監査：監査施設数　　か所

**下記の口座にお振り込みください。**

郵便振替：00180-5-741770 銀行振込：みずほ銀行駒込支店

○一九店　当座　0741770 普通　1029314

一般社団法人　日本核医学会 一般社団法人　日本核医学会

**領収書が必要な場合**や認証業務の実施に際して契約の締結が必要な場合は、お知らせください。

**なお、本書類をもって、消費税法に規定する適格請求書としてお取り扱いいただけます**。

PET撮像施設認証を取得するためのPET撮像に用いるプロトコールを申告してください。

日本核医学会（以下、学会）のPET撮像施設認証（I）では診療のためのPETの画質の向上を目的に、PET撮像施設認証（II）では多施設PET臨床研究や医師主導治験のためのPETの画質の向上を目的に、学会の示す標準的撮像プロトコールに従ったPET撮像を想定したファントム画像を評価します。

このため、申告された撮像プロトコールに基づいてファントム画像を取得されたとして画質を確認します。PET撮像施設認証の取得後は、当該PET検査の画質を維持することが奨励されます。維持に必要な管理体制や関連機器の変更管理や点検較正の実施記録方法は、PET撮像施設が定める必要があります。必要に応じて、学会が示す方法を参考にしてください（参考：PET撮像施設認証の概要）。

**PET撮像プロトコール申告書**

PET撮像施設認証を取得する撮像プロトコールを以下の通り申告します。

本申告書の記載事項と画像データに齟齬が判明した場合には、本申し込みによって発行されたPET撮像施設認証の認証状が無効になる場合があることを理解します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申込PET検査種目（およびPET薬剤）**[[1]](#footnote-1)** | 投与量**[[2]](#footnote-2)** | 待機時間**[[3]](#footnote-3)** | 撮像時間**[[4]](#footnote-4)** |
| □11C-メチオニンを用いた脳腫瘍PET撮像 |  |  |  |
| □18F-FDGを用いた全身PET撮像 |  |  |  |
| □認知症のための18F-FDGを用いた脳PET撮像 |  |  |  |
| □アミロイドイメージング剤を用いた脳PET撮像(一括評価はすべて記載。個別評価は該当のみ記載) | 11C-PiB |  |  |  |
| 18F-Florbetapir |  |  |  |
| 18F-Flutemetamol |  |  |  |
| 18F-Florbetaben |  |  |  |
| □18F-NaFを用いた全身PET撮像 |  |  |  |

|  |
| --- |
| PETカメラメーカー／機種／固有番号 |
|  |
| 画像再構成条件 | 減弱補正法 |  |
| 散乱同時計数の補正法 |  |
| 偶発同時計数の補正法 |  |
| 画像再構成法 |  |
| 画像再構成パラメータ |  |
| 画像再構成マトリクス |  |
| 画素サイズ | × |
| スライス厚 |  |
| 平滑化フィルタ |  |
| その他設定項目 |  |

* ファントム試験実施日：　20 ／　　／　　（原則として、申込前後1か月間に実施）

PET検査責任医師（申告年月日）：　　　　　　　　　　　（20 ／　　　／　　　）PET撮像施設認証を取得するためのPET撮像に用いるプロトコールを申告してください。

日本核医学会（以下、学会）のPET撮像施設認証（I）では診療のためのPETの画質の向上を目的に、PET撮像施設認証（II）では多施設PET臨床研究や医師主導治験のためのPETの画質の向上を目的に、学会の示す標準的撮像プロトコールに従ったPET撮像を想定したファントム画像を評価します。

このため、申告された撮像プロトコールに基づいてファントム画像を取得されたとして画質を確認します。PET撮像施設認証の取得後は、当該PET検査の画質を維持することが奨励されます。維持に必要な管理体制や関連機器の変更管理や点検較正の実施記録方法は、PET撮像施設が定める必要があります。必要に応じて、学会が示す方法を参考にしてください（参考：PET撮像施設認証の概要）。

**PET撮像プロトコール申告書**

PET撮像施設認証を取得する撮像プロトコールを以下の通り申告します。

本申告書の記載事項と画像データに齟齬が判明した場合には、本申し込みによって発行されたPET撮像施設認証の認証状が無効になる場合があることを理解します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申込PET検査種目（およびPET薬剤） | 投与量 | 待機時間 | 撮像時間 |
| □11C-メチオニンを用いた脳腫瘍PET撮像 |  |  |  |
| □18F-FDGを用いた全身PET撮像 |  |  |  |
| □認知症のための18F-FDGを用いた脳PET撮像 |  |  |  |
| ☑アミロイドイメージング剤を用いた脳PET撮像(一括評価はすべて記載。個別評価は該当のみ記載) | 11C-PiB | 555 MBq | 50 分 | 20 分 |
| 18F-Florbetapir | 370 MBq | 50 分 | 20 分 |
| 18F-Flutemetamol | 185 MBq | 90 分 | 20 分 |
| 18F-Florbetaben | 300 MBq | 90 分 | 20 分 |
| □18F-NaFを用いた全身PET撮像 |  |  |  |

|  |
| --- |
| PETカメラメーカー／機種／固有番号 |
| GEヘルスケア・ジャパン株式会社／Discovery PET/CT 690 Elite Motion Vision／ZZZ999 |
| 画像再構成条件 | 減弱補正法 | CTAC |
| 散乱同時計数の補正法 | Model-based |
| 偶発同時計数の補正法 | Singles |
| 画像再構成法 | VUE Point FX |
| 画像再構成パラメータ | Iteration 4, Subset 16 |
| 画像再構成マトリクス | 128 × 128, 47 slices |
| 画素サイズ | 2.0 mm × 2.0 mm |
| スライス厚 | 3.27 mm |
| 平滑化フィルタ | Gaussian filter FWHM 4 mm, Z-Axis Filter: Standard |
| その他設定項目 | Measured CTAC |

* ファントム試験実施日：　2023／09／22　（原則として、申込前後1か月間に実施）

PET検査責任医師（申告年月日）：　　核医学　太郎　　　　（2023／10／01　）

1. 申し込むPET検査種目を一つチェックし、その投与量、待機時間、撮像時間を記載。申告なしは空欄。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 投与量は［MBq］または［MBq/kg］で記載。 [↑](#footnote-ref-2)
3. 待機時間は［分］で記載。 [↑](#footnote-ref-3)
4. 撮像時間は［分］または［分/ベッド］で記載。 [↑](#footnote-ref-4)